



# 初の取り組み 議会報告会

とき 5月11日(土) ところ ヴィーブル 文化会館

とき 5月18日(土) ところ 御代志市民センター 講堂

開場 午後6時30分 開演 午後7時

## 議会報告会の内容

開かれた議会を目指して、議会の仕組みや平成25年度予算の論点などをわかりやすく説明し、皆さんとの意見交換を行ないます。市民の皆さんの参加をお待ちしています。

問い合わせ先 議会事務局(合志庁舎) ☎248-2038

## 平成25年度 施政方針

最小の予算で最大の成果を

平成25年度合志市経営方針の中で、引き続き重点施策として「財政改革の推進」を位置づけており、財政計画と行政評価システムに基づき財政運営と財政の健全化を進めること、また、自主財源の確保に向け、公平・公正な課税を図ることを取り組み方針としています。

平成33年度からは、地方交付税の算定方法が一本算定に移行し、交付額が大幅に減少することが予測されます。このような将来の歳入不足を見据え、健全な財政運営を行なうためには、今のうちから計画的に歳出を抑えていく必要があります。さらなる歳出削減を進めるとともに、最小の予算で最大の成果を得られるよう、真に必要な予算編成を行なったところとします。

### 「健康都市こうし」への取り組み

私は、就任から今日まで「健康都市こうし」を創ることを目標に掲げ、市政にまい進しています。「健康都市こうし」は、市民の健康づくりを進め医療費の削減につながることで、稼げる市をつくり市の財政を健康にすることを二本の柱に位置づけています。

市民の健康づくりを進め医療費の削減につながることは、一朝一夕ではその成果が見えづらく、市民一人一人の健康に対する意識を変えていく継続的で地道な活動が必要です。

また、市の財政を健康にする手段として掲げた、稼げる市を目指す取り組みでは、計画的な土地利用の推進を、経営方針における重点施策として位置付け、「多極集中型」の

暮らしやすく、利便性の高い都市づくりを目指して行くところです。本市が、より稼げるまちになるには、規制緩和をいかに早急に進めて行くかが最大の課題であり、さらに強く国・県に要望していきます。

### 子育て支援対策の充実

待機児童の解消は、仕事と子育てを両立したいという人たちの希望を実現させるだけではなく、雇用の創出においても有効であり、子育て世代の育児と就労支援や少子化に歯止めをかけるという効果も見込まれます。

具体的な待機児童対策として、2園で定員を40人増員するところです。また、須屋支所跡の施設を活用した「保育ママ事業」、さらに、待機児童が解消するまでの緊急の対策として、認可保育園への入所基準に該当しながら認可保育所に入所できない乳幼児を対象とする「待機児童支援助成事業補助金」を創設し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。

### 義務教育の充実

学校施設は、重要な教育基盤であり、子どもの生命の安全に直結するとともに、地域住民の応急避難場所

## 今月の表紙



3月21日、塚本美良子さん(中林)のお宅のチューリップが見ごろを迎え、色鮮やかな花を咲かせていました。塚本さんは、12年前から毎年チューリップを植えており、きれいに咲く1,000本のチューリップは、見る人を和ませ楽しませていました。

## 今月の主な話題

自立を目指して	4
犬の登録・狂犬病予防注射	9
認知症予防講演会	
楽しく認知症を予防しよう	10
「ことば教育」に取り組んでいます	11
市民のひろば	13

ともなるものであり、校舎・体育館等の大規模改修を進めその耐震性の確保などを図ってきました。ソフト事業としては、特別支援教育対策として、教育介護補助員やスクールソーシャルワーカーの拡充を図ります。また、医師や弁護士、臨床心理士などの専門家からなる「学校問題解決支援チーム」を発足させ、いじめや不登校などの対応を充実させたいと考えています。

### 任期4年目にむけて

「地域間競争」という言葉がよく使われますが、私はこの言葉が好きではありません。これからは、それぞれの自治体が知恵を出し合い「地域間連携」を進めることが最も重要だと感じています。自ら考え、その地域に何が求められ、何をやるべきかを判断し、お互いの強さと役割を生かし、自治体間だけではなく、産学官民連携を取りながら地域社会を創って行く時代に来ていると確信します。

「健康都市こうし」を目指した取り組みは、まだまだ道半ばです。社会の変化に乗り遅れないよう、スピード感を持った行政運営を推進してまいりますので、より一層のご協力をお願いいたします。

